

平成24年度6月補正予算の概要

平成24年6月萩市議会定例会

平成24年6月

萩市総務部財政課

■ 今回補正する会計及び各会計ごとの補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（全 12 事業 うち新規 5 事業）と個別排水事業特別会計（全 2 事業）の 2 会計です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	補正予算額
一般会計	第 1 号	6,095 万 5 千円
個別排水事業特別会計	第 1 号	—

※今回の補正は、全 14 事業（うち新規 5 事業）

■ 一般会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、国や山口県の当初予算の状況が不透明であったため、当初予算計上をやむを得ず見送っていた事業の追加及び事業費や財源を調整する事業等、当初予算編成後の状況の変化により早期に取り組むべき課題に対応する予算となっています。

主な事業は、地域の実情に応じた支え合い体制及び要援護者の支援体制を構築する事業、軽度・中等度難聴児の言語能力の健全な発達を支援するため、補聴器の購入経費等の一部を助成する事業、医療法人が小規模多機能型居宅介護施設を整備することに対して補助を行う事業、人・農地プランを作成し、農地集積を加速化させる事業及び「萩市花と緑のまちづくり条例」の制定に伴う事業等です。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
320 億 2,900 万円	6,095 万 5 千円	320 億 8,995 万 5 千円

※今回の補正は、全 12 事業（うち新規 5 事業）

3. 歳出予算の事業内容

■コミュニティ助成事業（610万円）

【予算説明書7ページ 地域振興費】
（担当課：市民活動推進課）

地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業（コミュニティ活動に直接必要な備品等の整備）の助成団体として決定を受けた市内コミュニティ組織に対し、市が歳入を受け入れ、同額を補助金として各団体へ支出します。

- 事業内容：○萩市連合婦人会への助成
 パネル、ノートパソコン、折りたたみテーブルの購入ほか
○旭地域コミュニティ協議会への助成
 テント一式、ハッジトリマー（剪定機械）の購入
○須佐地域ふるさとづくり協議会への助成
 仮設ステージ、机の購入

<財源内訳>

- 自治宝くじ助成金 610万円

■地域見守りネットワーク整備強化事業（383万1千円）

【予算説明書7ページ 社会福祉総務費】
（担当課：福祉政策課）

住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる地域社会をつくるため、市、社会福祉協議会、民生委員・児童委員及び町内会等が連携して、地域の実情に応じた支え合い体制及び要援護者の支援体制を構築します。

- 事業内容：○要援護者支援体制づくり
- ・ 要援護者名簿とマップを町内会や消防団等に配布します。
 - ・ 個別支援プランを作成します。
- 地域支え合い体制づくり
- ・ 見守り・支え合い活動の普及啓発を行います。
 見守り活動紹介パンフレットの作成、セミナーや研修会の開催
 - ・ 地域の福祉課題を住民が主体的に考え、その解決に向けた取組みを関係者と協働して実施する小地域福祉活動や日常的な見守り・支え合い体制が充実するよう、話し合い、具体的な活動を行う町内会等に対して支援します。
- 地域交流活動拠点の整備
- ・ 町内会等がサロン活動等地域の交流活動に活用するため所有する施設の改修や備品の整備を行う場合、費用の一部を助成します。
 補助金（150万円） 10万円×15か所

○徘徊・見守り SOS ネットワークの構築

- ・ SOS ネットワーク協力店や萩市の防災メール登録者の加入促進を図り、ネットワークを拡充します。
- ・ 徘徊模擬訓練のマニュアル（手引き書）を町内会等へ配布し、地域で模擬訓練が実施できるよう支援します。
- ・ SOS ネットワークパンフレットを作成します。

<財源内訳>

○ 県の補助 383 万 1 千円

■【新規】難聴児補聴器購入費等助成事業（19 万 2 千円）

【予算説明書 8 ページ 障害者福祉推進費】

（担当課：高齢・障がい支援課）

軽度・中等度難聴児の言語能力の健全な発達を支援するため、障害者自立支援法の補装具費支給制度の補完的措置として、山口県が創設する補聴器購入費等の助成制度とともに、萩市においても、補聴器を購入する経費等の一部を助成します。

事業内容：

項目	内 容
対 象 者	<p>○18 歳未満 ○萩市内に居住していること ○身体障がい者手帳の交付対象でないこと ○両耳の聴力レベルが 30 デシベル以上 70 デシベル未満（ただし、医師が必要と認める場合は、30 デシベル未満も対象）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○難聴の程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽度難聴（26～40 デシベル）小さい声での会話は聞き取りにくい。 ※30 デシベル…ささやき声 ・ 中等度難聴（40～70 デシベル）普通の会話が不自由 ※50 デシベル…静かな事務所 </div>
所得要件	○市民税所得割額が 46 万円以上の者がいる世帯を除く。（障害者自立支援法の補装具の支給に係る所得制限と同様）
助成範囲	○購入経費 ○耐用年数経過後の更新経費 ○修理費
助 成 額	障害者自立支援法に基づいた基準により算定した額の 3 分の 2
実施方法	市の負担 1/3、県の補助 1/3、本人の負担 1/3

<財源内訳>

○ 市の負担 9 万 6 千円

○ 県の補助 9 万 6 千円

■【新規】老人福祉施設整備費補助事業（1,500万円）

【予算説明書8ページ 老人福祉総務費】

（担当課：介護保険課）

菟地域大井地区において、医療法人河野医院が整備する診療施設等のうち、小規模多機能型居宅介護施設整備に対して、県からの補助金交付の内示があったことから、市を経由して補助を行います。

事業主体：医療法人河野医院

施設概要：鉄骨造3階建 1階 診療施設等
2階 小規模多機能型居宅介護施設6室（泊まり）
サービス付高齢者専用向け住宅6室
3階 サービス付高齢者専用向け住宅13室
延床面積 1,520.36㎡

補助対象：小規模多機能型居宅介護施設の整備

※小規模多機能型居宅介護…「通所サービス」を中心に利用者の状況や希望に応じ「訪問」や「泊まり」を組み合わせサービスを提供し、在宅生活の継続を支援するもの

＜財源内訳＞

○ 県の補助 1,500万円

■漂流・漂着ごみ一掃事業（173万2千円）

【予算説明書9ページ 減量推進費】

（担当課：環境衛生課）

ボランティアでは対応が困難な海岸などに漂着・散乱しているごみなどについて、収集・運搬・処分し、環境保全と景観の再生を図ります。

実施時期：平成24年7～8月の間で1日

実施場所：須佐地域 ホルンフェルス大断層南・北海岸（海岸延長 2km）

＜財源内訳＞

○ 県の委託 173万2千円



漂着ごみの収集作業▲

■【新規】戸別所得補償経営安定推進事業（1,117万5千円）

【予算説明書9ページ 農業振興費】

（担当課：農政課）

今後、農業従事者の高齢化や後継者不足により、大量の耕作放棄地が発生し、集落の崩壊につながる恐れがあることから、地域における経営体を確保し、農地を集積して規模拡大を図り、競争力を強化することにより、食料自給率の向上を目指しています。

集落・地域における話し合いによって、人・農地プランを作成することにより、地域の中心となる経営体への農地集積を図り、農業の競争力、体制強化を図ります。

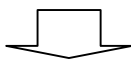
併せて、地域農業の中心となる経営体への農地の集積に協力する方に対し、農地集積協力交付金を交付します。

■人・農地プランを作成します。

集落・地域における話し合いによって、

- 今後の中心となる経営体（個人、法人、集落営農）はどこか
- 中心となる経営体へどうやって農地を集めるか
- 中心となる経営体とそれ以外の農業者（兼業農家や自給的農家）を含めた地域農業のあり方（生產品目、経営の複合化、6次産業化）などを決めます。

実施予定地区数（プラン数）：20 地区（20 プラン）



■人・農地プランに位置付けられると3つの支援を受けることができます。

①農地集積協力交付金

中心となる経営体への農地集積に協力する農地所有者に、また分散した農地の連担化に協力する農地所有者に、面積に応じて、協力金が交付されます。

○経営転換協力金 30～70万円／戸

○分散錯圃（さくほ）解消協力金 5千円／10アール

②青年就農給付金（経営開始型）

経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保するため、青年1人当たり年間150万円の給付金が給付されます。

③スーパーL資金（農業経営基盤強化資金）の金利負担軽減措置

認定農業者の借入れに対し、利子助成により貸付当初5年間の金利が実質無利子化されます。

<財源内訳>

○ 県の補助 1,117万5千円

■ふるさと萩回帰応援事業（120万円）

【予算説明書9ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

市内の農地等の相続権を有する市外在住の方（新規学卒者を含む。）が新たに転入し、意欲をもって農業に従事する場合、研修費用の一部を3年間支援するもので、当初予算編成後の平成23年度中に研修希望者の事業実施計画を承認したことから、補助金の追加補正を行います。（平成24年3月末をもって、本事業の受付は終了しました。）

事業受付期間：平成21～23年度

事業内容：39歳以下の方には1世帯当たり月額10万円を3年間支援します。
40～49歳以下の方には1世帯当たり月額5万円を3年間支援します。

対象者：1人（月額10万円×12か月）

受付実績：平成21年度 2人、平成22年度 5人、平成23年度 5人（今回の補正対象者を含む）

＜財源内訳＞

○市の負担 120万円

■畜産基盤再編総合整備事業（321万4千円）

【予算説明書9ページ 畜産業費】
（担当課：農政課）

地域内の土地を新たに飼料畑として活用し、畜産主産地としての施設を含めた基盤整備を促進することで、畜産担い手経営体の強化と、畜産振興を図ることを目的に施設整備の一部を助成するもので、県補助率のかさ上げが行われたことに伴い、追加補正を行います。

事業主体：やまぐち農林振興公社

事業実施者：（有）萩見蘭牧場

整備場所：萩地域木間地区

事業内容：肥育牛舎1棟（170頭規模）、堆肥舎1棟を新築します。

＜財源内訳＞

○県の補助 321万4千円

■ふるさと萩回帰応援事業（120万円）

【予算説明書 10 ページ 水産業振興費】
（担当課：水産課）

市内の漁船等の相続権を有する市外在住の方（新規学卒者を含む。）が新たに転入し、意欲をもって漁業に従事する場合、研修費用の一部を3年間支援するもので、当初予算編成後の平成23年度中に研修希望者の事業実施計画を承認したことから、補助金の追加補正を行います。（平成24年3月末をもって、本事業の受付は終了しました。）

事業受付期間：平成21～23年度

事業内容：39歳以下の方には1世帯当たり月額10万円を3年間支援します。
40～49歳以下の方には1世帯当たり月額5万円を3年間支援します。

対象者：1人（月額10万円×12か月）

受付実績：平成21年度 1人、平成22年度 1人、平成23年度 3人（今回の補正対象者を含む）

＜財源内訳＞

○市の負担 120万円

■離島航路事業（1,221万1千円）

【予算説明書 10 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工課）

萩海運有限会社が管理運営を行う離島航路について、平成23年度の離島航路欠損金に係る監査が行われ、国と県の補助金が確定したことから、市の負担額の追加補正を行います。

＜財源内訳＞

○市の負担 2,082万9千円

○県の補助 △861万8千円

■【新規】花と緑の審議会運営事業（10万円）

【予算説明書 11 ページ 緑花推進費】
（担当課：都市計画課）

「萩市緑を守る条例」の全部を改正し、「萩市花と緑のまちづくり条例」を制定することに伴い、「花と緑の審議会」を設置することから、審議会開催時に係る経費について、追加補正を行います。

運営経費：委員 14 人の報酬 8万4千円
委員6人の市役所までの旅費 1万6千円

■萩市花と緑のまちづくり条例

(概要)

私たちのまち萩は、海、川、山の豊かな自然に囲まれた、明治維新胎動の地といわれる誇るべき歴史のあるまちです。

しかしながら、都市化の進展に伴い「土堀からのぞく夏みかん」、「まちじゅうに香る夏みかんの花」、「歴史を見守ってきた松の古木」といった萩を物語る花と緑が失われつつあります。

花と緑は、市民の健康で文化的な生活環境を確保し、潤いと安らぎのある都市環境を形成する上で極めて重要であり、市民にとって心のよりどころとなるものです。

このような認識の下、市、市民及び事業者等はそれぞれの立場において、相互に協力して萩の花と緑を守り、育て、次世代に継承することを目指します。

<財源内訳>

○ 市の負担 10万円



土堀からのぞく夏みかん▲

■【新規】原山長沢線道路改良事業（500万円）

【予算説明書 11 ページ 道路維持費】

(担当課：農政課)

原山長沢線は、田万川地域の友信地区と原山地区とを結ぶ幹線道路で、横滝地区や主要県道田万川津和野線に至る重要な生活道であり、小川支所へのアクセス道としても利用されています。

また、原山台には企業誘致により、農業生産法人が大規模な畜舎等を建設する予定でもあることから、飼料や搬出牛の輸送の安全確保など、畜産業の振興にも寄与することが期待されています。

現道は道幅が狭く、大型車の通行や車の離合にも支障を来しており、地域住民の利便性と安全で円滑な交通を確保するため、道路改良を行うための調査を行います。

事業内容：測量設計等業務委託料

<財源内訳>

○ 市の負担 250万円

○ 県の補助 250万円

■ 個別排水事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、水洗便所改造資金融資あっせん制度を活用して、水洗化工事を実施する方に対して、融資を行う金融機関に支払う利子を助成することにより、水洗化の促進を図るものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
1,270 万円	—	1,270 万円

※今回の補正は、全2事業

3. 歳出予算の主な事業内容

■水洗化促進事業（1万2千円）

【予算説明書 17 ページ 一般管理費】
（担当課：下水道建設課）

汲み取り便所を水洗便所に改造する場合、水洗便所改造資金融資あっせん制度を活用して、水洗化工事を実施することから、排水設備の工事費を融資した金融機関に支払う利子を助成します。

対象地域：むつみ地域

水洗化の状況：処理区域内戸数 61 戸

水洗化戸数 53 戸（今回の補正対象者を含む）

水洗化率 86.89%（今回の補正対象者を含む）

<財源内訳>

○ 市の負担 1万2千円

